



令和7年度
山梨県ふるさと納税充当事業
成果報告書

ふるさと納税

YAMANASHI 2025

山梨県 総務部 資産高度利用推進課

令和7年度

ふるさと納税充当事業

目次

I	ふるさとの水を育む森林保全	2
II	富士山の保全、環境美化	6
III	ふるさと青少年育成	7
IV	ふるさと福祉向上	11
V	高校教育の充実	14
VI	ふるさと未来を創るDX	17
VII	スポーツの振興	18
VIII	クラウドファンディング	21

ふるさと納税

YAMANASHI 2025





I ふるさとの水を育む 森林保全



1

ニホンジカ・イノシシ・ニホンザルに よる農林業被害等の防止

増加または生息域を拡大しているニホンジカ・イノシシ・ニホンザルについては、第二種特定鳥獣管理計画に基づき、適正な個体数調整により、農林業被害や生態系への影響を軽減するため、管理捕獲を実施しました。



2

自然公園美化推進事業



本県の山岳観光地である南アルプス地域（国立公園・県立自然公園）、八ヶ岳地域（国立公園）、秩父多摩甲斐地域（国立公園）を清浄な環境に保ち、自然景観を保護するため、**自然公園内の登山道等の清掃及び整備活動、除草活動等**に対して助成しました。

3 県民緑化まつり事業



緑や森林に対する関心が高まる中で、緑をつくり・緑を育て・緑を守る意識を啓発するとともに、県民参加による緑づくりを行うことにより、うるおいと安らぎのある緑豊かな県土づくりを目指すため本県では「**県民緑化まつり**」を毎年開催しています。

令和7年5月17日(土)、身延中学校体育館（身延町下山9667）において、「令和7年度県民緑化まつり」として、記念式典を開催し、およそ300名が参加しました。また、同中学校及び身延町学校林に、**シダレザクラ3本、ミツマタ350本を植樹**しました。

4 種苗林木育種事業



本県では、「小淵沢」（北杜市）、「切久保」（南部町）、「富士山」（富士吉田市）など6ヶ所に県が保有する採種園（優良苗木の種子を採取する場所）のほか県内各地から採取した種子を、県内の苗木生産者の方へ供給しています。

令和7年度はこの事業により、**これら採種園の管理（下草刈り11.1haほか）や種子の採取（56.2kg）**などを行いました。

一粒の種子から芽生えた小さな苗木がやがて大きな木となり森が形づくられます。山梨の豊かな森の風景を未来に残し、また木材資源を絶え間なく生産する場として森を活用していくために、種子は欠くことのできない基本的存在です。





5 ナラ枯れ 被害拡大防止事業

ナラ枯れは、体長5 mm程度の甲虫であるカシノナガキクイムシがミズナラやコナラなどの幹に大量に侵入し、樹体内に持ち込まれたナラ菌の作用により樹木が集団的に枯死する現象で、この被害は全国的な広がりを見せています。

本県においてもこの被害が発生しており、森林景観や森林資源を集団枯損による影響から守るため、カシノナガキクイムシの駆除による被害対策に取り組んでいます。



令和7年度は、ナラ類等の被害木1,329m³を対象に薬剤での“くん蒸”処理や粘着シートを用いた捕獲による駆除を実施しました。

6 松くい虫等総合対策事業

本県の観光地や景勝地等の景観を構成するアカマツが、マツノザイセンチュウが樹幹内に侵入・増殖して枯れることを防ぐため、マツの幹に薬剤を注入する「樹幹注入」を実施し、**松くい虫被害の未然防止**に取り組んでいます。



令和7年度の樹幹注入による予防事業は、昇仙峡（甲府市・甲斐市）、万力公園（山梨市）、塩の山（甲州市）、諏訪の森（富士吉田市）、剣丸尾（富士河口湖町）において、延べ1,461本のアカマツを対象に実施しました。



7 松くい虫等被害景觀対策事業

本県の観光地や景勝地等の景觀を構成するアカマツが、マツノザイセンチュウの樹幹内への侵入・増殖により枯れてしまうと、良好な森林景觀が損なわれるほか、倒木による人的被害の恐れがあります。

このため、眺望ポイントや公共施設等において松くい虫被害木を伐倒・除去する「**枯損木除去**」を実施し、景觀保全に取り組んでいます。

令和7年度は、被害木1,216m³を対象に枯損木除去を実施しました。



8 松くい虫等被害地域対策事業



本県の観光地や景勝地等の景觀を構成するアカマツが、マツノザイセンチュウの侵入による枯死被害が続いている中で、特に保全すべきマツ林において被害木を伐倒除去する「**衛生伐**」、及びその周辺のマツ林を別樹種へ転換する「**樹種転換**」を実施し、**健全な松林の保全**に取り組んでいます。



令和7年度は、被害木1,868m³を対象とした衛生伐、及び1.78haの樹種転換を実施しました。

II

富士山の保全 環境美化



① 富士山五合目 インフォメーションセンター運営事業



富士山五合目総合管理センター内のインフォメーションセンターにおいて、**通訳案内士の配置**や**通訳機能搭載端末の運用**を行いました。これにより、**外国人来訪者への情報提供の充実**を図るとともに、**富士山の普遍的価値への理解促進及び安全で快適な利用環境の整備**に努めました。

② 富士山世界遺産センター運営事業



富士山の顕著な普遍的価値の普及啓発及び保存管理の拠点である**富士山世界遺産センター**において、企画展の開催、教育旅行の受入、富士山の総合学術調査研究の実施及び発表等を行い、**世界遺産富士山の後世への継承**に向けた取り組みが進みました。

III

ふるさとの青少年育成

① 子ども・若者の男女共同参画啓発事業

未来を担う子どもや若者が、性別に関わらず、**誰もが自分らしく輝ける社会**について自ら学び・考える機会とするため、年代に応じた啓発事業を行いました。



小学生に向けて

図画コンクールを開催し、性別に関わらず自分らしく輝く様子がいきいきと描かれた、**計150作品が集まりました**。12作品が入賞し、小瀬スポーツ公園にて表彰式が実施されました。



中学生に向けて

啓発冊子「カラフル」を作成し、県内の中学1年生全員に配布しました。本冊子を活用した授業も開催され、中学生が**将来なりたい自分像**を考えるきっかけとなりました。



高校生に向けて

県内の高校生、大学生計10名が参加し、全5回にわたるワークショップを実施しました。参加者は、**多様性社会やジェンダー平等**について学び、その学びをもとに、誰もが輝ける働き方について動画を制作しました。成果発表会では、動画に込めたメッセージを県民の皆さまに向けて発信しました。完成した動画は、**山梨県の公式YouTubeチャンネルにて公開**されています。



2 やまなし共生社会推進事業



誰もが個性・能力を最大限に発揮し、活躍することができる「**共生社会**」の実現に向けた取り組みを推進しました。

令和7年度は新たに、県内で共生社会の実現に向けた活動を行う個人や団体等を紹介する「**共生社会マガジンFLAT**」を制作し、マガジン記事や動画を通じて、多様な立場や価値観について知っていただく機会を設けました。

◀ 共生社会マガジンFLAT

また、令和8年3月に開催した「**ゆる☆ツナやまなしフェスティバル2026**」には多くの方々にご参加いただき、様々な実践者やゲストスピーカーによるプロジェクトや活動に触れるとともに、属性を超えた交流を通じて、会場全体で楽しみながら「共生社会」について考えました。

今後も**共生社会の実現を目指し、情報発信や交流の場づくりをはじめとする様々な取り組みを進めてまいります。**



ゆる☆ツナやまなしフェスティバル2026

3 若者海外留学体験人材育成事業 (大村智人材育成基金事業)

大村智人材育成基金
若者海外留学体験人材育成事業
山梨県は留学したい若者を応援します！

2025年度生を募集します！
国際的な視野と高度な知識・技能を持った人材の育成を図るため、高校生3名・大学生4名に対し、海外留学の支援を行います。
※応募資格等の状況によっては中止する場合がございます。

高校生コース
対象者：山梨県内の高等学校に在籍している生徒
募集人数：1名
応募資格：令和7年度卒業予定の高校生
応募期間：令和7年5月12日（月）～5月19日（日）
応募方法：山梨県立国際交流センター（〒400-8501 山梨県山梨市大宮2-1-1）に直接応募

大学生コース
対象者：山梨県内の大学・大学院・短期大学・専門学校に在籍している学生
募集人数：4名
応募資格：令和7年度卒業予定の大学生
応募期間：令和7年5月12日（月）～5月19日（日）
応募方法：山梨県立国際交流センター（〒400-8501 山梨県山梨市大宮2-1-1）に直接応募

奨学金制度
奨学金：1名につき10万円（上限額）
※奨学金は、応募者1名につき10万円～100万円
※奨学金は、応募者1名につき10万円～100万円
※奨学金は、応募者1名につき10万円～100万円

応募締切
5月12日

お問い合わせ：055-223-1312 山梨県 大村智 基金

令和7年度は、**国際的な視野と高度な知識・技能を持った人材の育成**を図るため、高校生3名・大学生4名に対し、**海外留学の支援**を行いました。

4 若手研究者奨励事業 (大村智人材育成基金事業)

大村智人材育成基金
若手研究者奨励事業
山梨県は若い研究者を応援します！

山梨県では、若手研究者の海外研究費を助成し、本県の産業振興や地域活性化に貢献する次代の優れた研究者の持続的な育成を図るため、自然科学分野9名、人文・社会科学分野2名、計11名の若手研究者の研究を支援しました。

対象分野
自然科学分野：100万円
人文・社会科学分野：50万円

募集人数
自然科学分野：9名
人文・社会科学分野：2名

応募資格
山梨県内の大学・大学院に在籍している若手研究者
山梨県内の大学・大学院に在籍している若手研究者
山梨県内の大学・大学院に在籍している若手研究者

応募期間
令和7年5月12日（月）～5月19日（日）

応募締切
5月19日

お問い合わせ：055-223-1312 山梨県 大村智 基金

本県の産業振興や地域活性化を担う次代の優れた**研究者の持続的な育成**を図るため、自然科学分野9名、人文・社会科学分野2名、計11名の**若手研究者の研究**を支援しました。

5 産業技術短期大学等就学サポート事業



生活が困窮し経済的な不安を抱える学生も安心して職業能力開発施設で学び続けることができるように創設された給付型奨学金制度に基づき、**経済的不安を抱える学生に就学給付金を支給**しました。

令和7年度支給実績

支給人数：16人

支給額：4,090,200円



6 不登校児童生徒のための学びの機会創出モデル事業



不登校児童生徒の多様な学習機会の確保を図るため、プログラミング等のデジタルスキルを活用したものづくりを体験するモデル事業として、フリースクールに通う児童生徒を対象に、**デジタル体験ワークショップ**を実施しました。

10月31日（金）および12月5日（金）の2日間で、延べ26名の児童生徒が参加し、オリジナルゲームの開発を行いました。

実施後のアンケートでは、参加者の96%以上が「満足」「とても満足」と回答し、プログラミングの楽しさの他、メンターや他の参加者との交流にも満足感を持つことができました。また、満足感だけではなく、デジタルスキルへの理解度も高い結果となり、さらには、参加者の半数以上が、**課題解決への意欲を持つことができました**。



7 八ヶ岳少年自然の家の運営



県立八ヶ岳少年自然の家は、恵まれた自然の中で少年の豊かな情操を養うとともに、集団宿泊生活を通して自律、協同、友愛及び奉仕の尊さを体験的に学習させ、心身ともにたくましい少年を育成することを目的に設置された青少年教育施設です。

施設では、集団宿泊体験をはじめ、冒険ハイクや野外炊事、クラフト体験等、自然体験・生活体験・交流体験を効果的に実施し、小中学生を中心に延べ40,900人を超える方にご利用いただきました。

IV ふるさとの福祉向上



1 子ども・若者の男女共同参画啓発事業



これまでのPR事業の甲斐もあり、令和7年度は、**延べ505組のお母さんとそのお子さん**に、宿泊型産後ケアをご利用いただきました。

利用者へのアンケート調査でも、施設利用に対して非常に高い満足度をいただいております、**多くのお母さん方の子育てに対する不安軽減**に役立っています。

産後の疲れたお母さんの心と体に寄り添いながら、**お母さんが明るい気持ちで子育てができるようサポートする施設**です。

多くのお母さんにこの施設のことを知ってもらうために、令和7年度は、SNS広告用のショート動画を作成しました。令和8年度から配信する予定です。



2 産休・育休明け保育推進事業

保育の質の向上、保護者が安心して子どもを預けることができる保育環境の整備のため、1歳児を担当する保育士を、配置基準を超えて配置し、**手厚い保育を実施する保育所等に対して支援**を行いました。

当該事業の実施により、保護者の産休・育休期間が終了した乳幼児の円滑な保育所入所を促進することで、**地域社会の要望に即応した保育体制を確立**し、児童福祉の向上を図りました。

子ども一人に対して配置する保育士の数

対象児	保育士数 (事業実施前)	保育士数 (事業実施後)
乳児（0歳児）	3人	3人
1歳児	6人	4.5人
2歳児	6人	6人
3歳児	15人	15人
4歳以上児	25人	25人

3 病児・病後児保育推進事業

病児・病後児保育施設の保護者利用料を軽減する経費について市町村が補助する場合に、県がその一部を補助することにより、保護者が病気の子どもを安心して預け、**仕事と子育ての両立ができる環境づくり**を支援しました。

利用延べ人数

4,894人

4 やまなし子育て応援事業

年収約640万円相当未満の世帯の第2子以降の保育料について、3歳になるまでの間、**保育料を無料化し、子育て世帯の経済的負担軽減**を図りました。

5 プレコン健診による健康づくり推進事業



将来の妊娠や出産、その先の人生を見据えた健康づくりを支援するため、**プレコンセプションケアの普及**に取り組みました。

その一環として実施した「プレコン健診」では、令和7年度に**2,980人の方が受診**しました。健診後のアンケートでは、65%の方が生活習慣の見直しを意識するなど、自身の健康について考えるきっかけとなりました。

6 子育て支援人材育成強化事業

子育て支援関係者の資質向上と、地域における子育て支援の取組を促進し、地域全体で子育てを支援する子育て協働社会の構築を図るため、『やまはび交流セミナー2025』を開催しました。基調講演では「親子が育つ場所、安心できる場所～現代社会と居場所の再発見～」と題して、教育学者・東京大学名誉教授 汐見稔幸氏に講話いただいたほか、分科会を開催し、講話及び参加者同士のグループワーク等を実施しました。



7 百歳長寿褒状贈呈事業

敬老思想の向上を図るため、県内にお住まいで新たに100歳を迎えられるお年寄りと県内最高齢者に対し、例年、老人週間に併せて知事の褒状及び褒状入れを贈呈しています。

褒状は手漉き和紙、褒状入れは郡内織物と、贈呈品には県産品を使用しています。

令和7年度は、449人のお年寄りに褒状を贈呈し、ご長寿をお祝いすることができました。



8 やまなし子育て応援事業

仕事と子育ての両立を支援するため、年収約640万円相当未満で対象となる27世帯について、第2子以降が3歳になるまでの間、障害児通所支援事業利用に係る費用を無料化し、子育て世帯の経済的負担軽減を図りました。

9 難病のこどもの未来支援事業

本事業はクラウドファンディングによる寄附募集もあわせて実施しました。詳細の内容につきましては、「VIII クラウドファンディング」(24ページ)をご覧ください。

V 高校教育の充実



① 県立学校の授業でICT技術を活用するための支援事業

山梨県では令和4年度から、県立学校の生徒全員が自分のパソコンを学校に持参し、ICT技術を活かした授業が行われています。

先生たちも、どんどん進化するICT教育に対応しようと、日々工夫を重ねながら取り組んでいます。

そこで、ふるさと納税を活用してICTに詳しい支援員の方を学校に派遣することで、先生たちのサポートを行い、より先進的で魅力ある授業づくりを後押ししています。



パソコンを使った授業風景

2 自ら学ぶ学校図書館活用事業

事業の概要

学校図書館は資料を収集・整理・保存し、生徒及び教員の利用に供することによって学校の教育課程の展開に寄与し、生徒の健全な教養を育成するために欠くことのできない基礎的設備です。

また、高等学校学習指導要領（平成30年告示）には、「学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に生かすとともに、生徒の自主的、自発的な学習活動や読書活動を充実すること」とあります。

学校図書館の「読書センター」「学習センター」「情報センター」としての機能の更なる充実を図るため、県立学校に**学校図書館情報管理電算システムを導入**し、各校の図書館情報管理（蔵書管理）と学校間相互の蔵書検索及び貸借を行っています。

事業の成果

県立高等学校及びろう学校における図書データの共有により、生徒が参照できる書籍の量や幅が拡大し、知的興味の喚起、探究学習等の深化につながっています。令和5年のシステム更新時には、サーバ型システムから**クラウド型システムに移行し、生徒の個人端末からの蔵書検索及び貸出予約が可能となりました。**

また、学校間での同種図書の購入に係る経費削減が見込まれ、各学校の特色や生徒の実態に応じた図書の購入、学校図書館の充実につながっています。

実績

県立高等学校間の
相互貸借による貸出総数

令和7年度

 1,189冊



3 工業系高校生基幹産業担い手育成事業

事業の趣旨

工業系高校が地域産業界、関係機関と連携した教育活動を展開することにより、高い技術・技能を身に付け、将来の本県基幹産業を支えていく人材を育成することを目標としています。

事業の内容

- ・企業実習（短期企業実習・先端企業実習・長期企業実習）
- ・企業技術者等による実践的授業
- ・基幹産業理解授業
- ・高等教育機関等との連携

目標値および成果

- ① 工業系高校生の技能検定等国家資格取得の延べ人数割合 70%

令和7年度：54.0%（前年比+0.6%）

- ② 工業系高校生の県内企業就職内定率 90%

令和7年度：82.7%（前年比-4.9%）

- ③ 関係機関で技術研修を受ける工業系高校生の割合 17.6%

令和7年度：17.1%（前年比-6.5%）

※②③が、前年より下がっている理由の1つには、インフルエンザの大流行により行事の不実施、不参加生徒の増加があります。

本事業の実施において、需要費及び報償費に活用されました。

教育活動が活性化され、特に関係機関等との連携を深めることができました。

グローバルリーダー 育成のための 国内留学推進事業

4

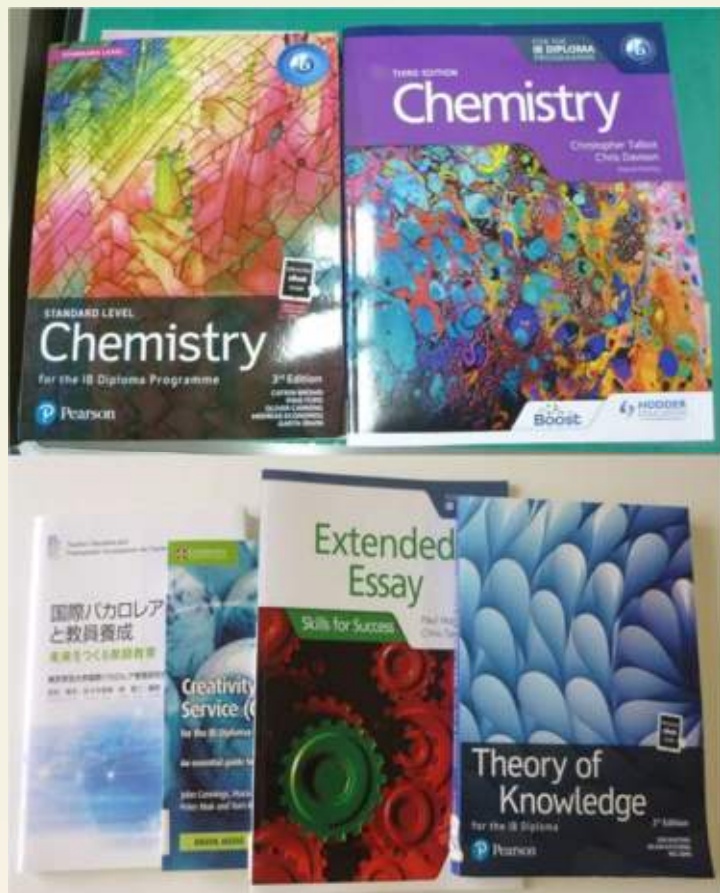


将来、**グローバル人材として活躍できる生徒を育成**することを目的として、県内の高校生が海外大学の日本校への国内留学を行いました。参加した生徒の感想では、英語でのディスカッションや留学生との交流など、海外大学と同じ学びができたと好評でした。

ふるさと納税を充当していただいたおかげで多くの高校生がこの事業に参加することができ、**グローバル人材として必要な豊かなコミュニケーション力**を身につけることができました。

5

グローバル人材育成教育プログラム 導入事業



令和3年度より、県立高校においてグローバル化に対応できる生徒を育成することを目的とした教育プログラムが本格的に開始されました。授業においては**ICT**を効果的に利活用しながら、ディスカッションを中心とした**質の高い探究的な学び**が行われています。

これまでふるさと納税を充当していただいたおかげで**教室環境や授業で使用する必要書籍等の整備を充実**させることができました。

さらに、公開授業研究会の開催による県内教員への情報発信にも取り組んでいます。令和8年3月には、4度目の卒業生を送り出すことができました。

やまなしデータプラットフォーム

山梨県のオープンデータを検索・活用できます

データを検索...



事業

農業

林業

景気

物価

住宅

工業

人口

観光

経済

V

ふるさとの未来を創るDX

1 データ利活用整備事業

やまなしデータプラットフォーム機能拡張

国ではデータの積極的な活用により、国民参加・官民共同の推進を通じた諸課題の解決、経済活性化、行政の高度化・効率化等を推進していることから、本県においてもデータ利活用を促進するため、令和5年3月、データの収集・蓄積・流通を担うデータ連携基盤「やまなしデータプラットフォーム」を構築しました。

令和7年度はふるさと納税を活用し、やまなしデータプラットフォームの機能拡張を実施。利用者の利便性向上を図るため、トップページの視認性を高めるデザインへ刷新するとともに、検索窓への推奨検索キーワード表示やカテゴリ別及び地域別（市町村別）などの検索機能の拡充などのデータ整備と機能強化を行いました。



VII スポーツの振興



① 山梨県立日川高等学校グラウンドの人工芝生化事業



山梨県立日川高等学校は120年を超える歴史を重ねてきた山梨県でも有数の伝統校です。「文武両道」を教育方針に持ち、ラグビーをはじめ部活動が盛んに行われています。

しかし近年は、日常的に人工芝グラウンドで練習している私立学校などに苦戦し、以前のような上位成績を収めることが難しい状況が続いていました。



そこで、生徒が普段から大会に近い環境で練習できるようにするとともに、本来の力を十分に発揮し、強豪校に打ち勝てるよう、グラウンドの人工芝生化を計画しました。

本事業に対し、多くの皆様から温かいご支援を賜り、お寄せいただいた寄附金等を活用し、**令和7年度にグラウンド約10,000㎡の人工芝生化工事を実施しました。**

完成した人工芝グラウンドは、天候に左右されにくく、年間を通じて安定した体育の授業や部活動を可能とする、安全性・機能性に優れた施設です。

また、完成後は、地域の皆様にも広く開放し、スポーツクラブの活動や各種教室など、子どもから高齢者まで多くの方々にご利用いただいております。**教育環境の充実はもとより、地域交流の促進にも貢献しています。**

2 やまなしパラスポーツセンター 指定管理者委託料

やまなしパラスポーツセンターでは、障がいの有無に関わらず誰もがスポーツに親しめる環境づくりを目的として、体験・健康づくり・交流の各分野において多様な事業を展開しています。

令和7年度は21,456人に御利用いただきました。



ボッチャ体験会



ゴールボール体験会



パラスポ広場



ヴァンフォーレパラスポーツチャレンジ

1 パラスポーツ体験事業

ボッチャ、ブラインドサッカー、ゴールボール、車いすバスケットボール、フライングディスク等の体験会を実施し、**初心者でも気軽に参加できる機会を提供**しています。競技団体と連携し、専門的な指導のもとでパラスポーツの普及を図っています。

2 健康づくり・運動教室事業

ヨガ、ストレッチ、フィットネス、青竹エクササイズ等の教室を開催し、**体力づくりや健康増進を目的としたプログラムを提供**しています。専門講師による指導により、幅広い年齢層が参加できる内容となっています。

3 交流・体育館開放事業

「パラスポひろば」や「あそび場」など、体育館を開放し**自由にスポーツを楽しむ機会を提供**しています。また、障がい特性に応じた教室（ソーシャルフットボール、うごき場）も実施し、**参加者同士の交流促進**を図っています。

4 イベント・普及啓発事業

パブリックビューイングやごちゃまぜサッカー、パラスポーツ体験ブースの出展、用具貸出事業などを実施し、**パラスポーツに触れる機会の拡充**を図っています。

以上のとおり、同センターでは多様な事業を通じてパラスポーツの促進とパラスポーツを通じた交流促進を推進していきます。

山梨県スポーツ・レクリエーション祭 開催支援事業

事業概要

山梨県スポーツ・レクリエーション祭は、「生涯スポーツの振興」を目的としたスポーツの祭典です。令和7年度は、5月10日から24日にかけて県内8市町で開催し、マスターズ陸上競技をはじめ19競技を実施しました。あわせて車いすマラソンを協賛種目として実施し、誰もがスポーツに参加できる機会の充実を図りました。



事業成果

令和7年度
参加者数

3,858名（昨年度比+361名）

1. 生涯スポーツの普及促進

幅広い世代がスポーツに親しむ機会を創出することができました。

2. 地域間交流の促進

県内8市町を会場として開催したことで、参加者同士の交流だけでなく、地域を越えた新たなつながりが生まれました。

3. 健康寿命の延伸への貢献

中高年・高齢者を対象とした種目も多数実施し、運動習慣の定着や健康増進に寄与しました。

4. 多様性を尊重するスポーツ環境の推進

障害の有無や年齢を問わず参加できる種目を実施し、誰もがスポーツの楽しさを共有できる環境づくりを進めました。

今後も、誰もが生涯にわたりスポーツに親しみ、健康で活力ある地域社会を実現できるよう取り組みを進めてまいります。

ジュニアアスリート・トータルサポート事業

事業概要

県内の競技団体と連携し、小学生から中学生を対象に有望選手の発掘・育成及び指導者の養成を一体的に実施する事業です。練習会や県外交流、講習会等を通じ、競技力向上と継続的な人材育成を図るとともに、寄附金を活用して受講料・旅費等を支援し、**競技機会の拡充**を図っています。また、将来の国スポ等で活躍する**選手・指導者の育成と、地域スポーツの活性化**に寄与しています。



事業成果

令和7年度に発掘・育成事業を実施した競技団体の割合は85.4%となりました。さらに、若手指導者育成に取り組む団体の割合は70.7%となっています。寄附金を活用した講習会受講や遠征支援等により、指導者資格取得と競技力強化が着実に進み、**将来の全国大会や国スポで活躍する選手層の裾野拡大と持続的な競技力向上につながっています。**

VIII

クラウドファンディング



1

障害者が輝くファッションショーを中心とした交流イベント開催事業

障害のある方とない方が共演するファッションショーを中心に、ダンスパフォーマンスや手話言語の啓発イベントを実施して、共生社会の実現を目指すイベントです。



開催実績

イベント名 : 「やまなしユニバーサルフェス2025」
 テーマ : 「わたしの色、あなたの色」
 日時 : 令和7年8月30日(土) 13:00~15:00
 場所 : イオンモール甲府昭和 1階 さくら広場

- 【第1部】「障害者モデルと学生ペア、ゲストとのペアによるファッションショー」
- 【第2部】「障害者グループと学生によるダンスパフォーマンス」
- 【第3部】「手話言語の啓発イベント」

- ①お笑いコンビ「デフW」による「手話コント」
- ②全国手話検定山梨県地域委員会による「手話検定ってな～に？」
- ③山梨県聴覚障害者協会による「手話クイズ」



出演者や来場者からは、次年度以降も継続して参加したいとの声が多数寄せられました。寄付によるご支援のおかげもあり、令和8年度も事業を継続し、ファッションショーを主軸とした「やまなしユニバーサルファッションショー2026」として開催することとしました。

2 人と動物の共生社会推進事業

ミルクボランティア事業



県に收容される子猫の多くは、生まれて間もない子猫です。自力で体温調節や排泄ができないため、数時間おきに授乳や排泄を促したりする必要があります。

そこで、譲渡できる状態になるまで子猫のお世話を
するミルクボランティア事業を実施し、活動支援として必要なミルク、ペットシート、哺乳瓶等の飼育に必要な物品を支給しています。令和7年度は71名、2団体の登録をいただき、**110匹の譲渡**へとつなげることができました。



猫不妊・去勢手術助成事業補助金

県に收容される猫のほとんどが、飼い主のいない猫から生まれた子猫です。また、飼い主のいない猫の無秩序な繁殖は、地域におけるふん尿や鳴き声など、環境問題にも関係しています。これらの問題への対策として、県では令和2年度より、市町村が実施する猫の不妊・去勢手術の助成制度に対する補助金交付を行ってきました。

令和7年度は、飼い主のいない猫及び飼い猫（多数の猫を飼うことにより、周辺の生活環境が損なわれている場合若しくはそのおそれがある場合に限る）を対象（補助額：不妊手術15,000円/匹、去勢手術10,000円/匹を上限（飼い主のいない猫は1,000円/匹を加算））とし、**1,294匹の不妊手術、1,104匹の去勢手術**に活用されました。



3 富士山クリーンアップ事業



富士山麓の 不法投棄廃棄物撤去作業

事業概要

富士山麓の環境美化のため、NPO等が主体となり、不法投棄により長期間放置されている産業廃棄物の撤去活動を支援する事業です。

事業成果

認定特定非営利活動法人富士山クラブが主体となり、6月～12月までに、計3回撤去活動を実施しました。ボランティアには延べ58人が参加、徹底的な分別・撤去を実施し、**1,380kgの廃棄物を処理**しました。

上記事業を実施したことで、**不法投棄の未然防止の普及・啓発**が図られました。



4 こども食堂支援体制強化事業



事業内容

本プロジェクトでは物価高騰により食材の確保や運営費の捻出が難しくなっているこども食堂に対して、山梨県が誇る美味しい県産食材や農協全国商品券を届けることを通じて、こどもたちの笑顔溢れる社会づくりに取り組んでいます。

事業成果

県内で活動するこども食堂52カ所に対して、県産食材や農協全国商品券を配付しました。

配付した食材総量については以下のとおりです。

- ・令和7年度産山梨県産米・・・4,900kg
- ・甲州富士桜ポークバラ肉・・・135kg
- ・甲州富士桜ポークロース肉・・・135kg
- ・甲州地どりモモ肉・・・・・・135kg



配付したこども食堂からは、「年長さんや小学生はおかわりするほど喜んでいました」、「如実にこどもたちの食べる量が増えていると感じます」との声をいただきました。県では、こども食堂の支援体制を強化するとともに、今後も子どもたちの生活の安定と健やかな成長を支えてまいります。





5 難病のこどもの未来支援事業

山梨県では、難病や障がいのある子どもたちとその家族が、気兼ねなく安心して過ごせる「居場所」「交流」の場を提供しているレスパイト施設「**あおぞら共和国**」の活動を支援しています。

同施設では、豊かな自然の中での宿泊体験（宿泊棟貸出）や交流イベントを実施しており、令和7年度の宿泊利用者は延4,000人を超え、交流イベントではボランティアや地域住民が参加し、**利用者と地域とのつながりを深める機会**となりました。

さらに、今回の取組みにより、同施設の活動や理念が県内外に広く発信され、多くの方々にその存在や役割への理解を深めていただく機会となりました。



難病のこども達に、かけがえのない交流体験を！





6 愛宕山こどもの国管理委託費



地域の憩いの場であり、観光資源である、あたごバラ園のバラを美しく保つため、定期的な選定や水やり、消毒などの維持管理を実施しました。

これからも地元住民や観光で訪れる方々に愛される施設を目指していきます。





お問い合わせ先

山梨県 総務部 資産高度利用推進課
資産活用・ふるさと納税推進担当

〒400-8501

山梨県甲府市丸の内 1 丁目 6 番 1 号

TEL:055-223-1314 FAX:055-223-1777

E-MAIL:furusatonouzei@pref.yamanashi.lg.jp

